BUDDY

取扱説明書

安全にご使用いただくために

- ご使用前になる前に、必ず本書を最後までよくお読みください。
- お子様が使用される場合は、保護者の方が本書をよくお読みになり、万全なご指導をお願いします。
- 日頃の点検を怠ると、思わぬ事故や本品の破損の恐れがあります。

安全に関するご注意

＊ご使用になる前に必ずお読み下さい。

⚠ 警 告

取扱を誤った場合、死亡または、重傷に至る可能性があります。

○　改造・分解をしないで下さい。

強度や耐久性が低下し、大変危険です。また、事故などに繋がる恐れがありますので、絶対に改造・分解をしないで下さい。故意にシートを傷つけたり、切断をするなどの加工を絶対にしないで下さい。シートが破断するなど、事故の原因になります。

○　車いすを火気に近づけないで下さい。

シート部が燃えたり、熱くなった金属部でやけどをするなど、大変危険です。

○　説明書に記載されている調整箇所以外の調整を行わないで下さい。

事故の原因となります。調整が必要な場合はご購入の販売店にご相談下さい。

○　調整部分のネジが緩んだ状態や、外した状態で使用しないで下さい。

調整後のネジの締め忘れや、クリップのとめ忘れに注意してください。緩んだ状態や外れた状態で使用した場合、重大な事故の原因になります。

○　フレームの異常ながたつき、破損・損傷がある場合は、直ちに使用を中止し、ご購入の販売店にご相談下さい。

⚠注 意

取扱を誤った場合、傷害にいたる可能性または、物的損害の発生する場合があります。

○　車いすを投げたり落としたり、衝撃を加えないで下さい。

○　定期的な点検・整備を行ってください。

○　介助者の方は、利用者が車いすに安全に座れていることを確認してから操作してください。

利用者の身体の一部、または衣服がタイヤ、スポーク及び地面、建物、歩行者に触れたりはさまったりしないようご注意下さい。

各部の調節方法

以下の手順で調節し、身体の状態と寸法などの適合を図って下さい。

＜手順１：シート奥行きを調節する＞

１）シート後方の２本のベルトＣを緩める。

２）シートフレーム前端に差し込んである左右の「クリップピン」を引き抜き、
シートフレームを両手で持って左右交互に少しずつ引き出したり、押し入れて
座面の奥行きを調節する。

３）最適な位置が決まったら「クリップピン」をはめ込み、ベルトＣをしっかり締め直す。

＜手順２：リクライニング、ティルト角度の調節＞【図１】【図３】

ご使用者の状態に合わせて座面とバックレストとのはさみ角度(リクライニング角度)と
シート全体の傾き（ティルト角度）を調整してください。

【ティルト角度の調整方法】

グリップに取付けたティルトレバーを握って行います。

＜手順３：フットレストの長さ調節＞【図１】【図４】

フットサポートの下側にある左右の「クリップピン」を引き抜き、最適な長さが決まったら
「クリップピン」をはめ込んで下さい。

＜手順４：バックレストレザーの張り調整＞【図１】【図２】

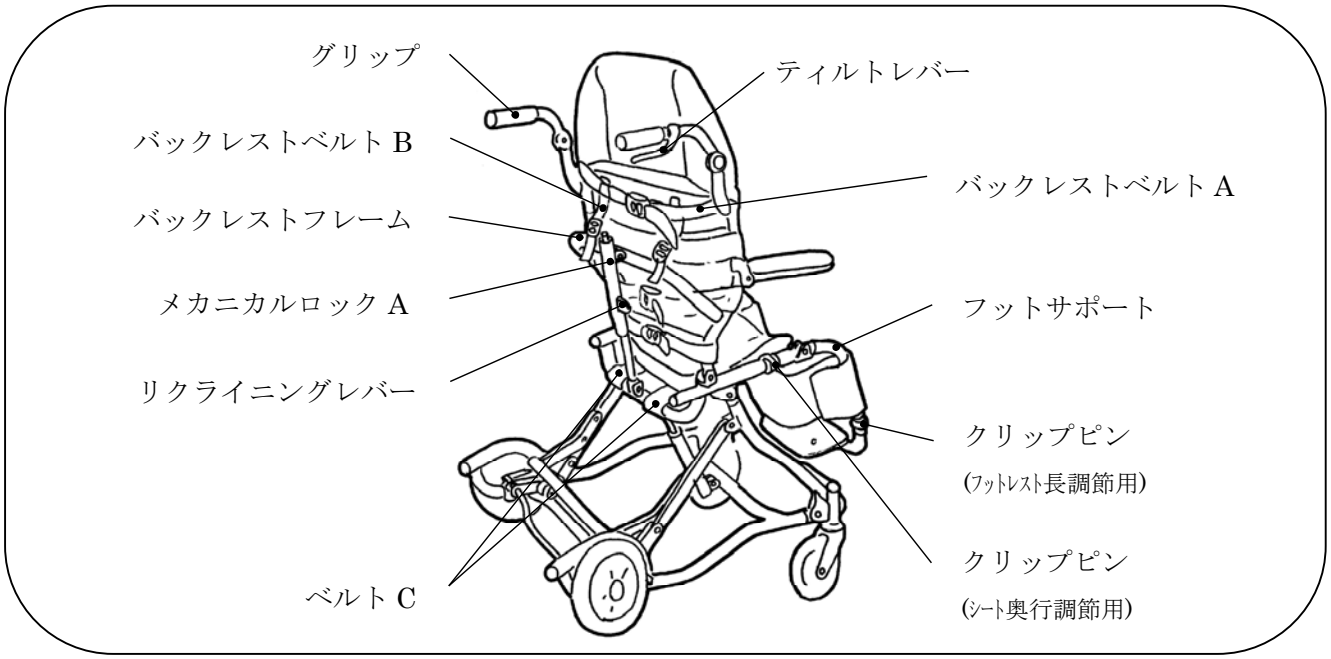
バックレストレザーの張り調整は最適な座位保持をするために大変重要です。
バックレストレザーの張り調整は背面横方向のバックレストベルトＡ（Mｻｲｽﾞ：４本、Ｌｻｲｽﾞ：５本）
の長さ調整と、２本のバックレストベルトＢで行います。

１）全てのバックレストベルトＡ・Ｂを緩める。

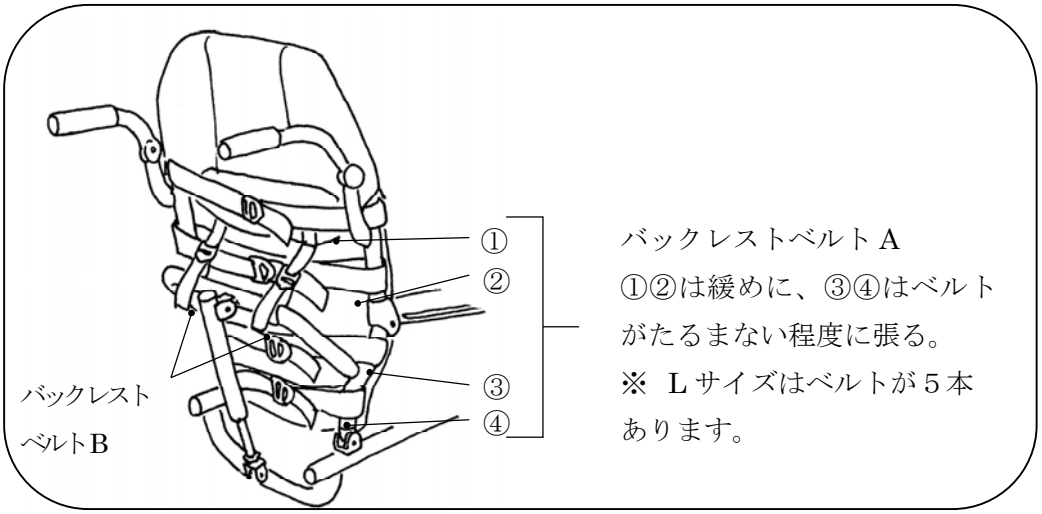
２）ご使用者の体幹の状態に合わせ、前方に押したい時は張りを強め、後方に逃がしたい時は
張りを緩める。

※特に、バックレストベルトＡのうち、上方から１本目～３本目を調整するときは、必ず
バックレストベルトＢを緩めてから調整を行って下さい。広い範囲で張り調節が可能となります。

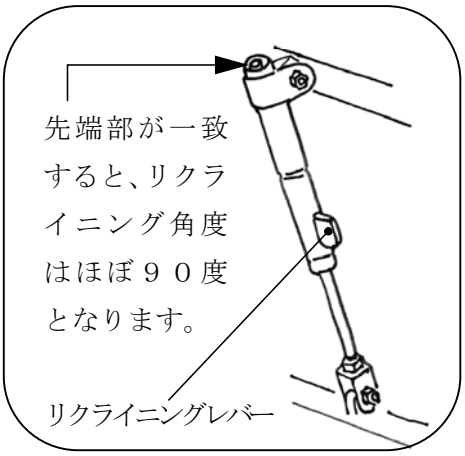
**※　この他、バックレスト高さ調節、フットプレートの角度調節（若干）、アームレストの
高さ調節と角度調節、が可能です。**


グリップ
ティルトレバー
バックレストベルトB
バックレストベルトA
バックレストフレーム
メカニカルロックA
フットサポート
リクライニングレバー
クリップピン
(ﾌｯﾄﾚｽﾄ長調節用)
クリップピン
(ｼｰﾄ奥行調節用)
ベルトC

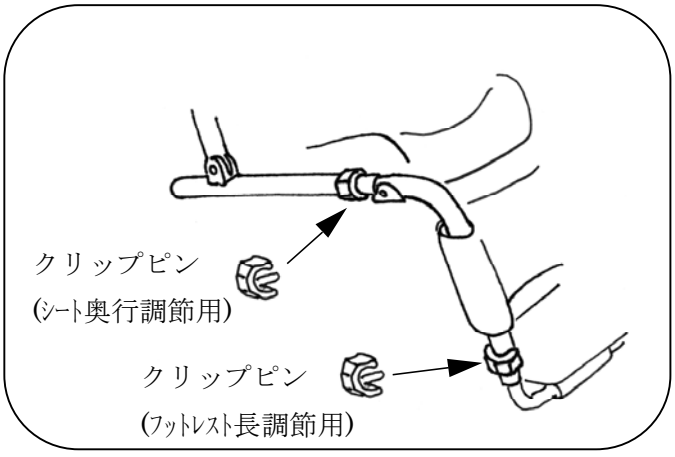
【図１】


①
②
③
④
バックレスト
ベルトB
バックレストベルトA
①②は緩めに、③④はベルト
がたるまない程度に張る。
※ Ｌサイズはベルトが５本
あります。

【図２】


先端部が一致
すると、リクラ
イニング角度
はほぼ９０度
となります。
リクライニングレバー

【図３】


クリップピン
(ｼｰﾄ奥行調節用)
クリップピン
(ﾌｯﾄﾚｽﾄ長調節用)

【図４】

折りたたみの基本操作【図５】

１）フットブレーキをかける。
２）ティルトレバーを握って前傾いっぱいまで起こす。（手順１）
３）フットサポート、アームレストを跳ね上げる。（手順２）
４）ロックレバーを外してバックレストフレームを
　前傾いっぱいまで倒す。（手順３）
　※　体幹パッドや股パッドをあらかじめ外しておくと、より
　　コンパクトに折りたたむことが出来ます。
５）ロック解除レバーを片手で握り、もう片方の手でバックレスト
　フレームを支える指でヒモを引くと、ピンが外れてロック解除
　されるので、そのまま解除レバーを上に引いて、フレーム全体を
　下側方向に折りたたむ。（手順４）
６）グリップダイヤルをゆるめてグリップを折りたたむ。（手順５）
　※よりコンパクトに折りたたむ事が出来ます。

※広げる時は、逆の手順で操作して下さい。

警告

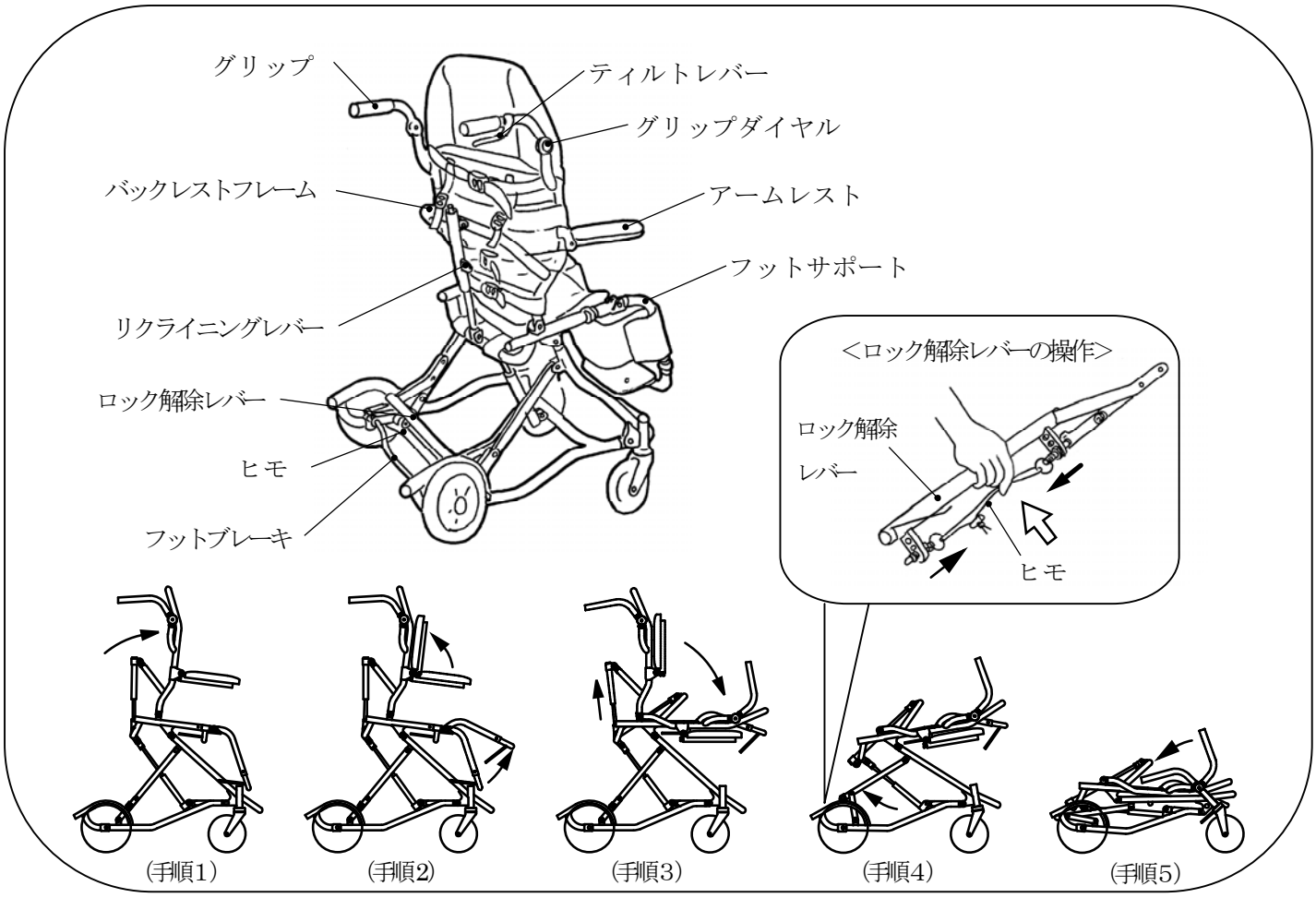
ロック解除レバーを操作する時は、もう片方の手で必ずバックレストフレームを支える。

※ロック解除レバーを引くと、途中からフレームの重さで自動的に折りたたまれます。この時、片方の手でフレームを支えていないと、フレームに手を挟む恐れがあり危険です。

注意

折りたたみ手順を必ず守る。

※　手順通りに行わないと、フレームに傷を付ける恐れがあります。



【図５】

⚠注意

車体の軽量化を図るため、バディーには発泡ポリウレタン製のタイヤを使用しています。
発泡ポリウレタン製タイヤの特性としまして、長時間ブレーキをかけたままですと、
タイヤに凹みができますが、しばらくすると戻ります。

「バディー」保証書

本書は、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。表記期間中に故障が発生した場合は本書をご提示の上、販売店にご連絡下さい。

保証規定

1.取扱い説明書にしたがって正常な使用をしていたにも関わらず故障、破損した場合は、お買い上げ日から 1 年間、無料保証致します。

2.保障期間内でも、次の場合には有料修理になります。

- **使用上の誤りにより故障が生じた場合。**
- **火災、地震、水害、その他の災害などによる故障および損傷。**
- **本書の指示のない場合。**

お客様のお名前	
ご住所	
お買い上げ年月日	年　　月　　日
販売店（担当者）	
備考：	

※お手数ですが販売店でご記入下さい。

お客様ご相談窓口のご案内

本製品についてご不満、ご要望、ご感想などがございましたら、
下記連絡先までご連絡下さい。

テクノグリーン株式会社　お客さま相談窓口
〒5300-0015　大阪市北区中崎西１丁目４番２２号　梅田東ビル
TEL:06－6371－0104
FAX:06－6371－6400
E-ｍａｉｌ：administration@technogreen.co.jp

無断複写禁